

平成29年4月10日  
四国電力株式会社

## 伊方発電所における通報連絡事象（平成29年3月分）

平成29年3月に、当社から愛媛県ほか関係自治体に通報連絡した事象は以下の2件です。これらの事象は、法律に基づく報告事象に該当するものではなく、また、環境への放射能の影響もありませんでした。

事象	発生日	発表日	県の公表区分
1. 伊方発電所1、2号機 海水電解装置の配管フランジからの塩素を含む海水の漏えいについて	3月4日	-	C
2. 伊方発電所3号機 発電機出力の変動について	3月15日	-	C

県の公表区分 A：即公表  
B：48時間以内に公表  
C：翌月10日に公表

なお、今月は過去に発生した通報連絡事象についての原因と対策をまとめた報告書の提出はありませんでした。

（別紙）伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成29年3月分）

以上

伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成29年3月分）

1. 伊方発電所1、2号機 海水電解装置の配管フランジからの塩素を含む海水の漏えいについて

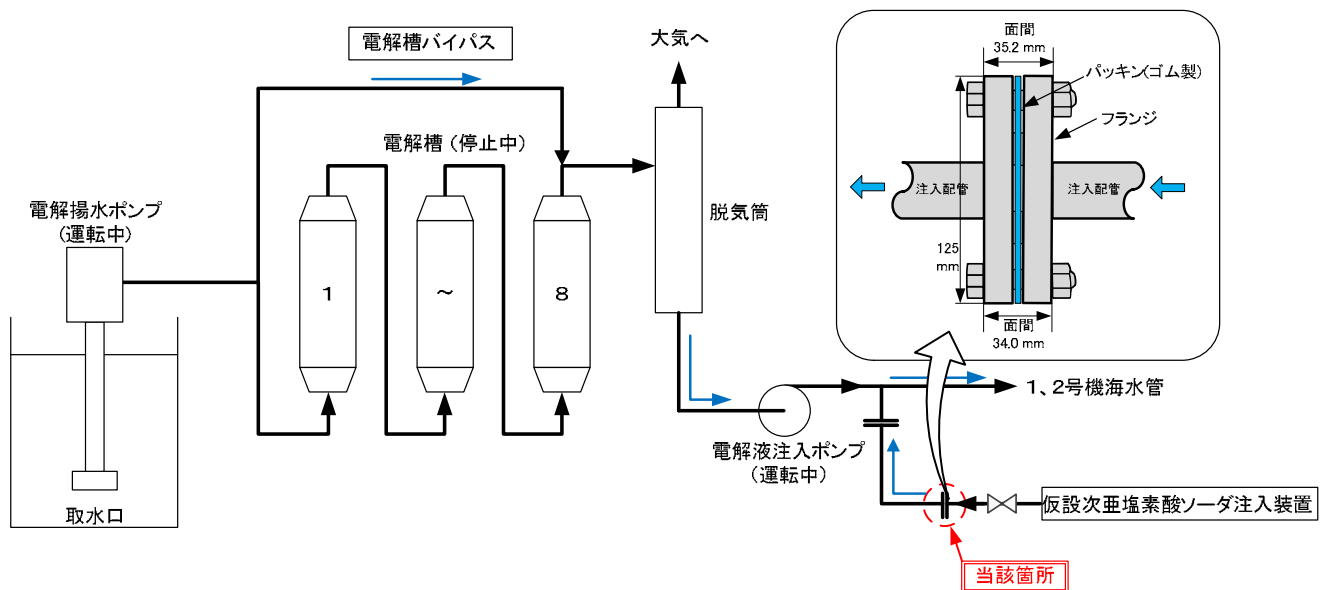
3月4日2時頃、伊方発電所1、2号機 海水電解装置室内（管理区域外）の配管フランジから、次亜塩素酸ソーダ（塩素）を含む海水が漏えいしていることを運転員が確認しました。そのため、次亜塩素酸ソーダの注入を停止し、同日4時35分に漏えいは停止しました。

なお、漏えいした水の量は約10リットルで、全量をふき取り回収しました。

その後、当該配管フランジ部を確認した結果、フランジ面間にわずかな傾きを確認しました。そのため、フランジ面間が均一になるように締め付け直して、3月9日11時58分、通常状態に復旧しました。

当該系統に放射能は含まれておらず、本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。

伊方発電所1、2号機 海水電解装置概略系統図



2. 伊方発電所3号機 発電機出力の変動について

3月15日2時38分、四国外での送電系統事故による影響と思われる系統ショックにより、伊方発電所3号機の発電機出力に有意な変動が発生しました。

発電機出力の変動は瞬時に収束し、プラントの運転に影響はありませんでした。

参考：発電機出力の変動幅

発電機出力の変動幅		
874 MW	~ 919 MW	~ 964 MW
( - 5 . 1 % )	( 変動前後 )	( + 5 . 1 % )